

入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成24年10月5日)

開催日及び場所		平成24年9月18日(火曜日)2階第一会議室		
委員		高木 聡廣 (弁護士) 星野 誠之 (公認会計士) 真崎 俊男 (NHK熊本放送局副局長)		
審議対象期間		平成24年4月1日～平成24年6月30日		
審議対象案件		410件うち、1者応札案件117件 契約の相手方が公益社団法人等の案件4件		
抽出案件		19件うち、1者応札案件6件 (抽出率5%) (抽出率5%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%)		
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		5件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		指名競争	公募型指名競争	0件
			工事希望型競争	0件
			その他の指名競争	0件
	随意契約		0件	
	業務	一般競争		4件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		指名競争	公募型競争	0件
			簡易公募型競争	0件
			その他の指名競争	0件
		随意契約	公募型プロポーザル	0件
			簡易公募型プロポーザル	0件
			標準型プロポーザル	0件
			その他の随意契約	0件
	物品・ 役務 等	一般競争		7件うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
		指名競争		0件
		随意契約(企画競争・公募)		0件
随意契約(その他)		3件うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
(特記事項)				

各委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答等
	<p>① 総合評価落札方式で行われた工事の入札筆記書で評価値が全て記載されていないのはなぜか。</p> <p>② 競争参加資格で事業の実績として、過去15年間に行った事業を認めることにしているが、造林・生産事業で15年間を起算する場合に年度又は年次の両方が使用されているが、どちらが正しいのか。 年度で起算するのであれば今後、入札公告において間違いがないようにするべきである。</p> <p>③ 松くい虫特別防除事業の空中散布で、入札を行ったが不落のため随意契約を行っているが、契約者は入札に参加していたのか。</p> <p>④ ETCの契約で利用業務とは、どのような業務か。</p> <p>⑤ ④について、他局でも同じ方法で契約しているのか。</p> <p>⑥ コリンズ・テクリスWeb検索システムはいつから利用しているのか。</p> <p>⑦ ⑥の検索システムは、一般競争参加資格審査の申請で提出する書類よりも詳細なデータが入手できるのか。</p> <p>⑧ ⑦から得られる情報は、一般財団法人 日本建設情報総合センターしか所有していないのか。</p> <p>⑨ 電気需給業務で、九州電力以外の入札参加の可能性はあるのか。</p> <p>⑩ 希少野生生物保護管理事業（調査業務）の予定価格はどのように算定されたのか。</p> <p>⑪ 調査・設計等業務で他事業に比べて落札率が低いのはなぜか。</p>	<p>① 予定価格（税抜き）を上回った者は、評価値が算出されないことから表示されていない。</p> <p>② 年度で起算するのが正しい。 今後、入札公告においてこのような間違いがないよう署等を指導して参りたい。</p> <p>③ 入札に参加していた。</p> <p>④ 契約相手方からETCカードを取得し利用した高速道路料金を精算（支払）する業務である（年会費及び手数料等は不要としている）。</p> <p>⑤ 他局でも同様の契約である。</p> <p>⑥ 一般競争入札が導入されたあとのH20から利用している。</p> <p>⑦ 業者が契約後にシステムに実績を登録することから、最新の詳細なデータが入手できる。</p> <p>⑧ 一般財団法人 日本建設情報総合センターしか所有していない。</p> <p>⑨ H23はイーレックス社の入札参加があり契約したが、H24は九州電力のみの入札参加であった。</p> <p>⑩ 提案書の技術点が最も高い者の見積書を予定価格としていたが、7月に通達改正があり、今後は標準仕様書を基に数量、単価等を算出して積算することになる。</p> <p>⑪ 年度当初であり、入札参加者が仕事を確保したいために競争が働き、落札率が他事業よりも低かったと思う。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	なし

[これらに対し部局長が講じた措置]		
-------------------	--	--

事務局：九州森林管理局企画調整室